

# ラテンアメリカ野球選手権大会日本代表団派遣 プロジェクト

TOMA Dream School SENDAI

代表 色川冬馬

## 1. 大会参加趣旨と概要

ラテンアメリカ野球選手権大会は、毎年7月から8月にかけてプエルトリコで開催される、カリブ海周辺諸国の子どもたちが参加する野球大会です。7回目となる本大会には、11の国と地域から約200人の少年野球選手が参加し、2014年7月28日から8月5日の9日間にわたり、リーグ戦とトーナメントによりチャンピオンを決定します。

本大会は「野球を通じた人間教育」を目的として掲げており、大会期間中は野球だけではなく、予定されている各国との文化交流イベントなどを通してライフスキルを磨き、母国・地域に貢献できる選手育成を目標としていることが特長です。

本大会への日本からの参加は、TOMA Dream School Sendai 代表の色川冬馬と親交のある本大会の主催者代表、マイク・モラレス氏からの、「被災地の子どもたちを応援したい」という申し出から実現しました。

### <大会概要>

大会名：ラテンアメリカ野球選手権大会

主催者：マイク・モラレス (Mike Morales)

公認：アメリカ大陸野球連盟、プエルトリコ野球連盟

開催日程：7月28日～8月5日

場所：プエルトリコ・アローヨ市

滞在先：グイラルテ別荘 (villas del balneario punta guilarte)

参加国・地域：アメリカ、ドミニカ共和国、キューバ、パナマ、ベネズエラ、メキシコ、プエルトリコ、コロンビア、クラカオ、アルバ

日本代表団：選手15名、コーチ3名、代表者2名

参加資格：11～12歳（2014年5月1日以降に年齢が13歳に達する選手まで）

ルール：リトルリーグ公認規則に準ずる

## 2. 大会参加までの背景

これまで TOMA Dream School Sendai 代表である色川冬馬が見てきたアメリカ、中南米での野球環境と子供たち世代からの指導環境から、世界に通用するための選手教育に必要な要素を体で感じ、考えてきました。その教育環境を日本の仙台で子供たちに伝えたいと試行してきていました。その教育プログラムの手本となるプログラムを実践しているのがマイク・モラレル氏です。今回、そのマイク・モラレスの主催するラテンアメリカ野球選手権大会へ日本として始めて正式な招待を受けました。このチャンスをぜひ被災地でもある宮城の子供達へ提供し、国際交流の機会に触れ、世界のスポーツに取り組む同世代の子どもたちと想いを共にし、しいては東日本大震災で多くの支援を頂いた被災地から世界へ感謝のメッセージを発信する機会になればと、参加を決意したものです。

## 3. 日本代表団の目的

野球ができることに「感謝」し、野球に関わる全ての人に「敬意」を表し、そして新たな野球の歴史を「創造」することの出来る選手育成を目的としています。また、今回は被災地の姿を世界へ情報発信することも「被災地招待チーム」としての「責任」であり、伝えること（英語教育）も選手団の使命であると考えています。一連の活動を通して、野球選手としての技術能力習得だけではなく、知性を磨くこと及び競技の枠を超えた交流へも積極的に挑戦し、スポーツとの関わり方の多様化及びその構図を学び、考え、理解できる選手育成を目指しています。

## 4. フロリダ州訪問について

日本代表団監督色川の恩師であり、TDSS の特別コーチでもあるベニー・カステイロ（プロ野球選手として11年、監督として8年間人物）が経営するベースボールアカデミー訪問（フロリダ、タンパ）を大会参加前に予定しております。理由は2つあり、1つ目はプエルトリコで子どもたちが最高のパフォーマンスを発揮するために時差、海外の環境等になれるためです。2つ目は、彼の持つバイタリティーの強さ、多様化する現代を生き抜くためのライフスキルを肌で感じて欲しいからです。2000年に最高監督賞を受賞し、2003年にはフロリダ・マーリンズ（シングルA）を率いワールドチャンピオンに輝いたベニーは常にデュアルキャリアを推進している指導者の1人でもあります。あらゆる人種を一つにまとめ上げ、お互いの文化を尊重し、多人種多言語の中で常勝軍団を作り上げた秘密を観て、感じてみてほしいと考えています。

## 5. 参考資料

### 【日本代表団スケジュール】

月別	備考	
4月	事業案内	国際大会選手派遣事業の概要説明とご案内 関係者・協力者ミーティング 派遣選手大会視察
5月	選抜選手選考	5月17日（土） 選手選考会@利府球場 選抜選手・保護者説明会
6月	選抜選手練習会	選抜選手集合研修・オリエンテーション 選抜選手練習会&英語レッスン 国際交流としての滞在生活レクチャーを通じたマナー指導 東日本大震災への支援に感謝のお礼と復興状況を伝えるプレゼンテーション
7月	日本代表団出国  大会開幕	仙台市、各後援団体への表敬訪問 7月22日（火） 日本出発 7月23日（水） フロリダで時差調整キャンプ開始 7月26日（土） プエルトリコへ移動 7月28日（月） ラテンアメリカ野球選手権大会開幕
8月	帰国	8月03日（日） チャンピオンシップ、3位決定戦 8月04日（月） 選手権大会閉幕式（BBQ、各賞発表） 8月05日（火） プエルトリコ出国・日本帰国 大会結果及び活動報告会 解団式

### 【プロジェクト運営メンバー】

	氏名	年齢	所属・肩書	実施上の役割
	色川 冬馬	24	TOMA Dream School Sendai 代表	代表者
	高橋 基	50	意匠計画工房 代表	副代表
	我妻 博隆	49	名学館富沢校塾長	事務局長
	菅井 沙知子	24		事務スタッフ
	碓井 南	24		事務スタッフ
	金山 祐太郎	23		事務スタッフ

### 【大会サポート実行事務局】

宮城県リトルリーグ野球協会 会長 小林靖俊  
 宮城県リトルリーグ野球協会 会長代行 庭山一男  
 宮城県リトルリーグ野球協会 事務局 安藤智春

## <ラテンアメリカ野球選手権大会による宣誓>

地域に寄り添ったリーグ運営

野球選手としてだけでなく、人間教育において大切な世代あることの認識

社会性、感受性、そして心技体における選手サポート

ライフスキル（自立、尊敬、責任）の獲得

## <大会運営について>

プール A、B に 6 チームずつ別れ、毎日 1 試合ずつ、リトルリーグのルールに準じてリーグ戦が進められます。そして、リーグ戦終了後、各リーグ優勝チームによるチャンピオンシップを行い、チャンピオンを決めます。同日、各プール 2 位につけたチーム同士での 3 位決定戦も行われ、閉会式では、オールスター選手が各ポジション 1 人ピッチャー 2 人の合計 10 名が大会運営員によって選手選考される予定となっています。MVP 選手、ベストピッチャー賞、打撃タイトル等の表彰も行われる予定です。

## <招待チーム（日本代表団）に提供されるもの>

プエルトリコ国内宿泊施設

プエルトリコ国内朝昼晩の食事

プエルトリコ国内移動

## <昨年の大会結果>

優勝 ベネズエラ（5 勝－0 敗）

準優勝 プエルトリコ A（4 勝－1 敗）

第 3 位 プエルトリコ B（4 勝－1 敗）

第 4 位 アメリカ合衆国（3 勝－2 敗）